

令和2年 第3回

武蔵野市教育委員会臨時会

令和2年4月4日

於 教育委員会室

武蔵野市教育委員会

令和2年第3回武蔵野市教育委員会臨時会

○令和2年4月4日（土曜日）

○出席委員（5名）

教 育 長	竹 内 道 則	教育長職務代理者	山 本 ふみこ
委 員	渡 邊 一 衛	委 員	清 水 健 一
委 員	井 口 大 也		

○事務局出席者

教 育 部 長	福 島 文 昭	指 導 課 長	村 松 良 臣
統括指導主事	小 澤 泰 斗		

○日 程

1. 開 会
2. 協議事項
 - (1) 市立小・中学校の再開について

◎開会の辞

○竹内教育長 ただいまから、令和 2 年第 3 回教育委員会臨時会を開会いたします。

初めに、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は、武蔵野市教育委員会会議規則第 36 条の規定により、議長において、清水委員、井口委員、私、竹内、以上 3 名を指名いたします。

◎協議事項

○竹内教育長 これより、協議事項に入ります。

協議事項（1） 市立小中学校の臨時休業について 説明をお願いいたします。

○村松指導課長 本日、午前 10 時から、臨時で新型コロナウイルス感染症対策本部会議が行われました。先日の教育委員会臨時会で暫定再開について協議いただいたところですが、その後の状況で、都内でも感染者数が増大していること、また、その半数の感染経路が不明ということがあり、今後、市民の感染者も増大する心配もあるというところを踏まえ、学校の再開について、また、休校について考えていくことになりました。

そこで決定したことを踏まえ、まだ案ではございますが、武蔵野市立小中学校の臨時休業について、教育委員会から発出したいと考えております。

感染者増大への懸念、また、市民の生命と健康を守る観点から、暫定再開の日数を 4 月 17 日までとしていたところですが、短縮し 4 月 8 日までとし、4 月 9 日から 5 月 6 日、ゴールデンウィーク明けまでを臨時休業としたいと考えております。

子どもたちの生活リズムの乱れ等が指摘されておりましたが、改めて保護者の皆様に対しては、感染防止のための臨時休業であることを踏まえ、人の集まる場所、公園、繁華街をさけ、自宅で過ごすことをお願いしようと考えております。

4 月 9 日から 5 月 6 日までを臨時休業といたしますが、暫定再開期間を 4 月 6 日から 8 日までとし、この再開期間を新学年の教科書や副教材の配付、自宅学習に向けての教材の配付、また、学級開きとして、新しい担任、新しい友達と出会う場としたいと思っております。

2 年生から 6 年生までは、6 日が始業式、7 日、8 日については午前中授業とし、給食を提供します。中学校については、6 日が始業式、7 日が入学式となりますので、

8日のみを学級開きの日として、給食を提供します。小学校1年生に関しては、もともと給食の開始がこれよりあとでございましたので、提供いたしません。

休業期間中ですが、週の学習予定として、1時間目から4時間目くらいのを担任から示して、家庭で学習を行ってもらおうこととします。その学習状況や健康状態の把握のために、週1回程度登校日を設けますが、それは子どもの人数など、学校の規模が異なることから、学校ごとに設定していただきます。

また、3月の臨時休業と同様、校庭の開放や学校図書館の開放を実施しますが、学校ごとに計画を立てていただこうと思います。

最後に、児童の居場所の確保について、3月の休業期間中は学童クラブで朝から受け入れを行っていましたが、5月6日以降さらに延長となると、学童クラブの体制がさらに厳しくなるとの状況から、今回については、居場所の確保については、保護者のやむを得ない事情に自宅で過ごすことが困難な児童については、居場所の確保を、小学校にはお願いする予定です。自宅で学習する内容を示しているため、感染予防を講じて、学校の教室で自学習を行うこととなります。

学童クラブは、昼12時からの受け入れが可能であることから、学童クラブに在籍している児童には、弁当を持参させることとなります。

校長会長にはすでにお伝えしているところですが、本日の臨時会のあと、全校長先生にお集まりいただき、ご説明し、対応をお願いする予定です。

前回の暫定再開については、すでに文書を発出しておりまして、それに向けて準備をお願いしておりましたが、今度は休業に向けて体制を整えていただこうと思います。他区市であれば4月6日から休業となるなか、本市では、再開に向けて準備をされており、休業に向けた準備が全くされておりませんので、学校には、4月8日までの3日間で、準備をしていただくこととなります。

○竹内教育長 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

○渡邊委員 そのような方向で考え直していただいて良かったと思います。4月8日の1日でも授業で会えるのは大切な時間になります。登校日の設定も週1回ということでしたが、その後の状況に応じて増やしていただくことも可能だと思います。

こちらからも提案しながら、この難局を乗り切っていくことを子どもたちにも学習してもらおうことも一つの勉強にもなると思います。それが、子どもにとって将来役に立つ経験になるかと思っています。

学童クラブについては、どうなるのでしょうか。新1年生が5、60人見学に来ている学童クラブもあるそうです。1年生は、入会の申請をすれば、受け入れてもらえるのでしょうか。そのあたりの記載がないようですが。

○竹内教育長 指導課長。

○村松指導課長 こちらの文書は教育委員会から発出する予定ですが、学童クラブについては、担当部署から発出することになるかと思います。基本的に、申し込みされた児童は利用できること、また、特例で、入会していない4年生以上の児童も受け入れる体制を整えているようです。そのことについて、担当部局からは、休館しているあそべえの場所を使ってもなお、子どもたちの間隔を保つことが厳しいので、学校施設を貸してほしいとの要望もいただいておりますので、対応していきたいと考えています。

○渡邊委員 是非、協力してやっていただきたいと思います。

○竹内教育長 清水委員。

○清水委員 こちらに記載しているように、児童生徒の生命と健康を守ることを大事にして、決定していくことは大切なことです。今後も状況は変わることと思いますが、このことを第一優先に考えていただきたいと思います。

この危機を乗り越えていくことは、厳しく辛いことではありますが、一方で、チャンスでもあるのです。保護者、地域の方々とより緊密な信頼関係を築くこと、学校と教育委員会が一体となって進めていけるといふ、強い絆を培っていける大きなチャンスなのです。そういうことを大事にしていただきたいと思います。

具体的には、慎重に検討して、1つの結論を出した以上は、それを裏付ける根拠をしっかりと、保護者、地域、学校に示し、理解してもらうことが大切です。保護者や地域からのいろいろな意見についてはしっかりと受け止め、そのことが本当に正しいと判断した時には、方向変更をする勇気を持つことも大切です。

しかし、議論しつくして決定したことは重いものなのです。方針がぶれるということは、組織の信頼関係が崩れかねないのです。今回の状況はある程度予想がつくことで、目の前のことに向かいつつも、1週間、10日先を見通して、じっくり考え、いろいろな意見を集約しながら、一番良い方針を決めることが大切なのです。

これからの危機対応においては、そういうことを大切にして、こういう時こそ、保護者、地域、学校が一体となって、期待した成果が上げられるように取り組んでいただきたいと思います。

○竹内教育長 新学期に学校を再開することについては、校長会とも議論してきましたし、再開に慎重な意見もありました。しかし、一旦決めたのであれば、それをきちんと守る、説明していくことが、学校に対する信頼感の基にもなる、そのことにも留意してほしいとのご意見もいただきました。

その後、様々な状況の変化もあり、このギリギリのところ、あえて、市長・副市長との協議、そして臨時会を開催し、校長会とも話をしたうえで、その方針を見直そうということになりました。

○渡邊委員 5月6日まで臨時休業すると意思決定したけれども、また状況に応じて、判断しなければならないこともあるでしょう。その時には、ある程度先を予想して、決めていく方が良いと思います。今後は、我々にもそういう情報を聞かせていただき、最終的な意思決定を教育委員会でできればと思います。再開する、休業するということについての判断材料は、先に示していただけるとありがたいと思います。

いずれにしても、学校が始まる前に意思決定できてよかったですと思います。

○竹内教育長 山本委員。

○山本教育長職務代理者 変更にはなったけれど、暫定的に一度再開することは揺るぎのないところがあるわけで、武蔵野市の決定はとても重要なことと考えています。

私が言うようなことではないのですが、今日、校長会臨時会が開かれる際には、児童生徒という存在がいかに学校を大切に思い、学校でした約束事は守り難くても、守りたいという存在であるということを経験して、新型コロナウイルス感染症対策がどれほど慎重に行われるべきかということ、学校からきちんと伝え、みんなで約束する場にしてほしいということをお伝えいただきたいと思います。

指導課長が先程言われた、学校を再開する準備と、休業する準備が違うということについて、改めて認識いたしました。それは、学校にとって大変なことですね。そのことは、教育委員会と一緒にやっていく立場ではありますが、決定事項が変わったことによる対応について、保護者、市民にも理解してもらえるとよいし、そういうなかで、学校教育が準備されるということを経験するいい機会であると感じています。

○竹内教育長 井口委員。

○井口委員 3月になってすぐ臨時休業に入り、保護者からはとにかく早く再開してほしいという声が聞かれたけれども、ここ数日の様子が刻々と変化していくなか、感染経路が不明だったり、子どもを介しての事案も聞かれるようになると、保護者からの多くの

意見としては、再開しない方がいいというふうに気持ちも変わってきているところです。

生命、健康を第一にということでは、今回、臨時会を開催していただいて、安心しているところです。

それでも、保護者の中には、2日間も行くの、心配だという声はあると思います。しかし、今回変更したことを伝えていって、信頼関係を維持できるように進めていったらいいと思います。

また、このことで、地域の活動、とりわけ当たり前のようになってきたPTAの活動の在り方が変わる機会にもなるでしょう。清水委員が先程おっしゃったとおり、ピンチをチャンスにではないですが、これを機会に見直す、新たなチャレンジになるということで、よりよく子育てできる環境になるようにと思います。

○**清水委員** 学校経営の場面では、非常に早く的確な手が打てると、そこで信頼関係が高まる場面があります。一方、よく考えた手を打ったけれども、たくさんの意見に反応して違う選択をした結果、学校がより良い方向にすすんだとしても、当初決定したことを覆すような取組の発信は、学校はもっとしっかりしてほしいという思いを生むことがあるのです。それだけ、決定は重いですから、そのところも理解する必要があるのです。

5月6日まで臨時休業は継続することを発信するわけですが、これが伸びることはあってもそれは良いのです。もし、期間を縮めることになれば、信頼関係にヒビが入ることもある。これから何かを決めるときには、慎重に見ていってほしいと思います。

最後に、通知の文案の「改めてお子様にお伝えしていただき、人の集まる場所等への外出を避け、」のところは、下線を引くなど、もっと強調できないでしょうか。下線を引けないのであれば、表現を「改めてお子様にお伝えください。特に、人の集まる場所等への外出を避け、」とするなど、協調していただきたいのです。

現状、中央公園では、子どもたちがかなり群れて遊んでいます。このことは、大事なことだと思います。

○**山本教育長職務代理者** そのことも、学校で約束してほしいのです。まだ、認識が甘い子がいますから、学校で約束することは大事ですね。

○**渡邊委員** 子どもたちに、ウイルスとはどんなものか伝えていただきたいと思います。

また、人にうつさないことを徹底して、先生から言われる方が、親から言われるよりも効き目が大きいと思います。そして、人にうつさないためにはどうしたらいいのかを考えることができるし、道徳の授業にもなるし、みんなで決めたことになれば、人が集

まるところには行かない方がいいとなります。3日間のなかで、工夫して取り組んでいただけるといいと思います。

○山本教育長職務代理者　もしかしたら、自分がかかっているかもしれないし、かかってしまった時の対応もあるでしょうし。道徳のことで言えば、かかってしまった人を排除しないということですよね。子どもたちは、親が見ているテレビ番組などでいろいろな情報が入って訳が分からなくなっていると思うので、学校で決めたことを、ひとつ大事なこととして自分のなかに置いてほしいと思います。

○渡邊委員　万一、かかった子が学校に戻る時も重要ですね。そういうことがあるということも考えておかないといけないと思います。いじめの対象にならないよう、医療関係者の子どもがいじめを受けているという話もきいています。戻っても大丈夫なようにしていただきたいと思います。

○村松指導課長　こちらの資料は、教育委員会名で保護者に発出する文案です。この後、校長先生方にも改めて、通知の方は出そうと思っています。

その中には、家庭における指導もそうですし、学校においても、感染症について適切な知識をもとに、偏見や差別が生じないように、それぞれ指導するように伝えておりますが、今、委員の皆様からのご意見を踏まえて、校長先生方にも伝えようと思っています。

3月の休業に入る前も同じような指導はしています。私の前任校の話になりますが、校長の私ではなく、普段と違う立場から副校長が話をしたら、子どもたちにはかなり入ってしまって、一歩も外に出ない子どもいました。改めてということ文言は入れますが、また文案を再考してみたいと思います。

○山本教育長職務代理者　校長会は何時から開催されますか。

○福島教育部長　午後4時からです。午後3時からの新型コロナウイルス感染症対策本部会議幹事会に教育委員会臨時会の協議結果を報告した後、校長会でも詳細について打ち合わせさせていただく予定です。

○渡邊委員　この発表は、いつ頃されるのですか。

○福島教育部長　教育委員会臨時会で了解が得られた旨を本部会議に報告し、学童クラブとの調整が整ったら、すみやかに今日中に発表したいと考えております。

○渡邊委員　ホームページにも掲載するのですか。

○福島教育部長　はい。

○竹内教育長 ほかには、よろしいでしょうか。

それでは、説明のとおり、市立小中学校の休業につきましては、資料のとおり行うということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、このように進めさせていただきます。

◎閉会の辞

○竹内教育長 これをもちまして本日の日程は終了いたしました。これをもちまして、令和2年第3回教育委員会臨時会を閉会いたします。
お疲れさまでした。

午後2時38分閉会